

# おばなざわ 市議会だより 98号

平成30年7月15日発行



**尾花沢小学校自転車クラブ**  
れんぱ  
**県大会団体21連覇**  
8月8日、東京ビックサイトでの全国大会に出場

### 6月定例会

予算の審議	2
一般質問	4
私のひとこと	12

発行／山形県尾花沢市議会 編集／市議会だより編集委員会

## 私のひとこと



一般社団法人尾花沢市観光物産協会  
銀山温泉案内人  
**戸津 奈穂子 さん** (荻袋在住)

銀山温泉観光案内所は平成21年10月に開館しました。振り返ってみればあつとつという間の9年間。携帯電話一つから始まった案内所、毎日が

悪戦苦闘の日々で今まで生きてきて、これほど勉強したことがあつたらうか、と思うくらい必死でした。分らない。知らない。出来ない。



そんなことでお客様に迷惑をかけてはいけないと常に思っていたので、一度失敗したことを繰り返さないようにと自分に言い聞かせながら、周りの人達に助けられて今の案内所が継続出来ています。この数年は海外の方も多くなり、日本語しか話せない私とはにかくコミュニケーションションを取れるようにマップ作りを必死にしました。その甲斐があつて、今は何とかこなしていますが、まだまだ足りないところばかりです。銀山温泉に訪れた

## 表彰

全国市議会議長会表彰規定に基づき、長年の発展に尽くされた功績により表彰状が伝達されました。

**全国市議会議長会表彰(勤続10年)**

- 菅野 修 一 議員
- 加藤 克彦 議員

**建設運輸委員会感謝状**

- 菅野 修 一 前議長
- 須貝 孝 議長



方達の笑顔がいつも見えるように、もつともっと自分が出て

る限りの努力をしなければいけないと思っています。

## あとがき

来年の春には尾花沢市制60周年を迎えます。人間でいえば還暦のお祝いをする年にあたります。98号の発行日には第8代の新市長が決まります。これから出来る新庁舎を中心に、尾花沢市も再スタートの時期に来ているようです。

100号に向けて読みたくなる編集をこころがけていきます。(塩原未知子)

### 発行責任者

- 議長 須貝 孝
- 市議会だより編集委員
- 委員長 小関 英子
- 副委員長 鈴木 裕雅
- 委員 青野 隆一
- 委員 塩原未知子
- 委員 笹原 和子
- 委員 伊藤 浩
- 委員 鈴木 清

旧福原中部小学校体育館解体実施設計、  
5,334万5千円

畜産生産拡大支援などに  
を追加

一般会計予算総額 **124億**

**1,206万円**

国民健康保険特別会計予算総額

**24億3,319万円**

平成30年6月定例会は6月7日から15日まで9日間の会期で開催され、平成30年度の補正予算2案件と条例改正3案件、ロータリ除雪車購入及び放水塔付消防ポンプ自動車購入の契約締結案件、人事案件1件が上程されました。審議の結果、いずれも原案どおり可決しました。また、請願1件を採択し閉会しました。その主な内容を紹介いたします。

議案の審議

一般会計補正予算について

旧福原中部小学校体育館の  
解体工事実施設計業務委託料

**問** 800万円の予算は高すぎる、積算の根拠はどうなっているのか。また、見直しを行うことはどうか。

**答** 建築物の規模に基づき、国の算定基準で見積もりを行った。財政も厳しい中なので、再度積算を行ってみたい。

**問** 公共施設整備基金の残高は現在どのような状況になっているのか。また、校舎全体の解体費用の見込みはどうか。

**答** 平成29年度末の残高で1億5600万円となっている。解体費用として体育館が2千万円、校舎が8千万円と見込まれる。

放水塔付消防ポンプ自動車  
契約締結について

**問** 新庁舎や市内の高層建築物に対応する能力は持っているのか。  
**答** 最大13メートルの高さまで延伸出来るので、4階立て相当の建物の消火や救助作業に対応可能である。

**問** 大勢の人が屋上に避難した場合の救助体制はどうなるのか。  
**答** 大規模な災害が発生した場合は広域消防体制で近隣の自治体に、はしご車の応援や県の消防防災ヘリを要請して対応していく。



放水塔付消防ポンプ自動車イメージ図

採択された請願

◎平成30年請願第1号  
洪水防止のための丹生川への放水路布設に関する請願

- |        |       |
|--------|-------|
| 鶴子連合区長 | 本間 仁七 |
| 鶴子第一区長 | 秋保 秀雄 |
| 鶴子第二区長 | 土屋 保司 |
| 鶴子第四区長 | 永沢 栄治 |
| 六沢連合区長 | 笹原 進  |
| 六沢第一区長 | 小林 幸吉 |



産業厚生常任委員会で現場の視察



総務文教常任委員会で旧福原中部小学校の視察

# おばねっ子が喜んで帰りたいくなる故郷の施策は

市長…雪をポジティブに捉え支援する

**問** 少子化に歯止めをかけるためにもふるさとに帰り、定住していく若者を増やすため就労の場を確保し、若者が起業するためのサポート体制が重要だ。「市長夢講話」中学校3年生の感想文に大変感動した生徒が10年後ふるさと尾花沢に戻り、定住していくためにはどのような施策が必要か。

**答** 雪をポジティブに捉え市のPR素材にして「尾花沢が素晴らしい」ことを自信をもって伝え、優良企業を紹介していく。若者の起業サポート体制は、起業、農業をめざす女性を対象として矢越の産業創出型シェアハウスを開設し、2



塩原未知子 議員

**問** 尾花沢の山の保全国の募集をしている。就農支援にも力を入れている。

**答** 山形百名山に5つ（御所山・翁山・ニッ森・大平山・御堂森）選ばれている中でも御所山は奥深い。尾花沢山の会には古道の調査や名木沢森林組合に刈払いを委託している。今後は森林管理署や県などと調整し再開に向けて取り組んでいく。花笠高原荘は委員会の提言にも合致するため、ネイチャーセンター的な機能も合わせ検討していく。



シェアハウス管理人 古瀬志織さん(右)



御所山道元峽コース

尾花沢を思い  
1Jターンして  
ますます活躍して  
ほしい。

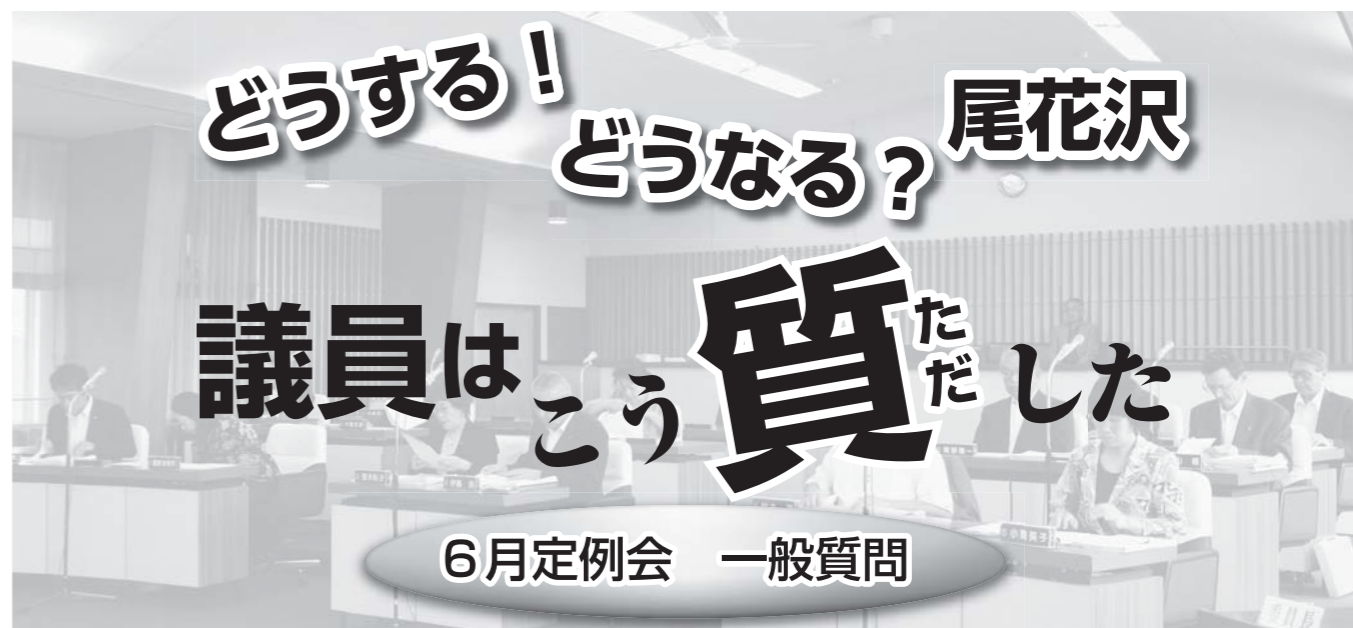


議員のつぶやき…

**問** 豊かで美しい環境を100年先まで守るためには誰かが必要。次世代エネルギーパークに認定された本市の実績を活かした環境保全を掲げてはどうか。

**答** 本市は雪氷冷熱、バートを体験できる次世代エネルギーパークの認定を受けている。「尾花沢市清らかな環境を保全する条例」や、県内初の「尾花沢市水環境保全条例」を制定し、清らかな水環境を未来に引き継いでいく。さらに徳良湖周辺の他、銀山温泉、花笠高原など自然環境と景観の保全を基本に、歴史文化の資源を活かしながら観光交流促進につなげていきたい。

## 徳良湖100周年に向けて



◇掲載項目 ・その他の質問項目

塩原 未知子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 御所山と尾花沢の山の保全について</li> <li>◇ 徳良湖100周年に向けての周辺整備環境保全について</li> <li>◇ おばねっ子が喜んで帰りたいくなるふるさとづくりについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 元気の尾花沢の達成度について</li> <li>・ 尾花沢市役所内の働き方改革について</li> </ul> </li> </ul>
伊藤 浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ これからの農業政策について</li> <li>◇ 高齢化社会における福祉政策について</li> <li>◇ 鳥獣被害対策について</li> </ul>
青野 隆一	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 臨時職員の待遇改善について</li> <li>◇ コシアブラのセシウム検出に対する今後の対応について</li> <li>◇ 日本一尾花沢すいかマラソン大会の実施について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 今後のまちづくりの課題について</li> </ul> </li> </ul>
小関 英子	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子どもの健康環境を守る対策について</li> <li>◇ 尾花沢市に住み続けられる除雪対策の推進について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 防災・減災対策の拡充について</li> </ul> </li> <li>◇ 食品ロス「ゼロ」を目指しての対策について</li> </ul>
菅野 修一	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 子育て日本一を目指す課題について</li> <li>◇ 雪対策日本一のまちづくりについて</li> <li>◇ 花笠高原荘の「森の駅」としての機能整備について</li> <li>◇ 子ども議会の開催について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鳥獣被害防止対策について</li> </ul> </li> </ul>
鈴木 清	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 県との共同運営による国保税の負担軽減をどうすべきかについて <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 「コシアブラ」問題について～食の安全と不安解消のために～</li> </ul> </li> <li>◇ 「主要農産物種子法」廃止について</li> </ul>
奥山 格	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ 特定公共賃貸住宅について</li> <li>◇ 花笠高原荘の改修計画について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新庁舎の改築工事を視察して</li> </ul> </li> <li>◇ 廃校の利活用の検討について <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市内の交通事故の防止対策について</li> <li>・ 農業問題について</li> </ul> </li> </ul>

※一般質問は、議員1人あたり最大1時間の持ち時間で行われています。



市のホームページから **市議会インターネット中継・録画も見て下さい!**

尾花沢市議会 検索 [www.city.obanazawa.yamagata.jp](http://www.city.obanazawa.yamagata.jp)

# 臨時職員をどう確保するのか

## 市長…必要な人数の確保が大変になっている



青野 隆一 議員

### 臨時職員の大幅な待遇改善

**問** 4月1日現在の臨時職員数及び職種別の全職員に占める割合についてうかがいたい。

**答** 全職員27名に対して臨時職員は12名となっている。

また、臨時職員の占める割合は、一般行政関係22%、保育関係62%、医療関係25%、技能労務関係80%となっている。

**問** 有効求人倍率が高まる中、臨時職員の確保が大変と聞く。賃金も含めた大幅な待遇改善が必要ではないか。

**答** 市報やハローワークなどで募集しているが、4月1日時点で必要な

### 農業政策

**問** 本年度の稲作作付け面積は生産の目安に対し、どのくらいの見込みとなるのか。

**答** 山形県農業再生協議会から示された目安を、面積換算にすると2千42haとなり、現状では31haのマイナスとなる見込みである。

**問** 稲作作況指数の見直しについて、関係機関にはどのような働きかけをしているのか。

**答** 山形県の会議などで地域の実状を訴えている。現在は山形県全体を4ブロックに分けて作況指数を定めているが、今後も実態に即した基準反収や作



伊藤 浩 議員

### 高齢化社会における福祉政策

況指数となるように、現場の声を届けていく。

**問** 老人世帯や要支援世帯が年々増えており、民生委員の負担が増えている。活動費の見直しについてどのような協議を進めているのか。

**答** 民生委員の活動内容では年々多岐にわたっており、深刻な相談内容も増えている。金銭的な負担を生じさせないよう、民生委員の定数増員や基準単価の引き上げについて、本市の重要事業として国に要望していきたい。

### 「コシアブラ」のセシウム検査にどう対応するのか

人員が配置できない状況となっている。待遇改善については、他市の状況及び市内の民間企業の実態なども踏まえて対応していきたい。

**問** 県が実施するセシウム値調査では、毎回基準値以下なのに、本市産コシアブラだけが毎年マスコミに報道されるのはなぜか。

**答** 県の自生山菜などの検査時点では問題がない。市場に出回ってから厚生労働省の買い取り検査で基準値を超えている。市民の間に、健康被害への不安や風評被害

高齢者世帯除雪扶助事業で、委託者の一時的な金銭的負担を軽減するために運用見直しの提言をおこなったが、その後の協議状況はどうか。

**問** 受託者の事前登録を行なった場合、逆に負担が生じ、事業の目的が達成されなくなることも懸念される。委託者の皆さんの負担が、少しでも軽くなるよう、例えば建設業協会と協議して除雪券が直接使えるようにするなど引き続き検討する。

**答** 鳥獣被害防止対策協議会の助成金が増えているが、拡大された内容を

### 鳥獣被害対策

書の懸念が広がっている。市独自の検査や宮城県のような「住民持ち込み放射能測定」を行ってはどうか。

**答** 本市独自の検査を行って、県の数値と乖離が出た場合の信頼性が課題となる。宮城県の持ち込み検査については、利用状況や検査内容を調査したい。

### 夏すいか生産日本一のマラソン大会

千葉県富里市の「スイカロードレース大会」には毎年1万2千名の参加者がある。

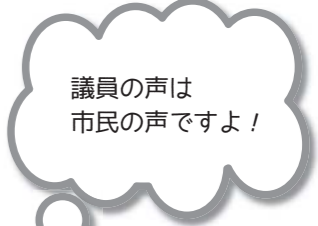
本市でも、尾花沢すいかや牛肉、アスパラなどの食べ放題グルメマラソン大会



花笠マラソン大会(エイドステーション)

**問** 本市を全国にPRする絶好の機会であり、新たな誘客を図る上で、大変意義のある提案と考える。しかし、真夏の開催となると、十分な安全対策が必要となり多くの課題がある。

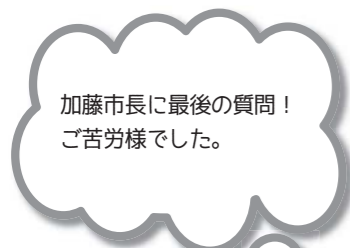
**答** 本市を全国にPRする絶好の機会であり、新たな誘客を図る上で、大変意義のある提案と考える。しかし、真夏の開催となると、十分な安全対策が必要となり多くの課題がある。



議員の声は市民の声ですよ！



議員のつぶやき…



加藤市長に最後の質問！ご苦労様でした。



議員のつぶやき…

# 生産の目安となる面積と作付面積見込みは

## 市長…生産の目安に対して31haのマイナスとなっている

# 子育て日本一を目指す課題は

## 市長…小児科医の確保が最重要



菅野 修一 議員

**問** 子育て日本一を目指す本市では、小児科医師の確保にどう取り組んでいるのか。

**答** 具体的な確保には至っていないのが現状で、抜本的な対策を講じるよう国に要望している。

**問** 子育てしながら働きやすい環境づくりとして病児保育の見直しはどうか。

**答** まずは小児科医の確保が最重要課題であると考えている。

**問** 本市に就職する条件で、大学や短大・専門学生に対して返還不要の給付型奨学金制度を創設してはどうか。

**答** 財源を確保した上で持続可能な制度にする必要がある。市内就職と

いう条件のもと、どれだけ応募者が見込めるのか課題と考える。

**雪対策日本一のみまじゅく**

**問** 全家庭前の間口除雪を実施すべきと考えるがどうか。

**答** 理想であるが、除雪車、オペレーターの確保や、除雪時間と経費の増大など課題が数多くある。総合的な雪対策を行っており、今後も継続して実施したい。

**問** 流雪溝整備は計画を前倒しで加速化することが出来ないか。

**答** 5カ年計画で行っている。水源や水量、流末などの課題がクリアー出来ずに事業化に至っていない

ない地区がある。

**問** 自治会の一部で除雪隊を編成して高齢者世帯などの除雪を実施している。他の地区にも組織が編成されるよう支援制度を充実してはどうか。

**答** 地域除雪活動支援事業を平成27年より行っている。傷害保険や賠償保険の全額、除雪機の借上げ料を交付している。昨年度は、6地区で76万円を交付している。今後、他地区への広がりを期待している。

**森の駅**

**問** 花笠高原荘に「森の駅」としての機能整備を行い、登山やトレッキングの情報提供、道案内人の紹介などを行う場を設

置してはどうか。

**答** 花笠高原荘検証検討委員会からの安価でシンプルな宿との提言に沿った対応を考えている。ネイチャーセンター的な機能を含め、情報収集をしていきたい。

**子ども議会**

**問** 新庁舎開庁の記念事業として「子ども議会」を開催してはどうか。

**答** 子どもたちが尾花沢の将来について考えることは有意義なことと考えている。子どもたちの声は、まちづくりに欠かせない視点であり、前向きに検討したい。

小児科医師の確保も市が主体的に取り組んでほしいね。



議員のつぶやき…

# 尾花沢に住み続けられる除雪対策を

## 市長…除雪支援事業の周知を徹底していく



市道除排雪作業

**問** 大雪であった昨年、65歳以上の高齢者世帯や重度心身障がい者世帯などへ、除雪券の支給が行われたが、65歳未満の一人暮らし世帯への除雪支援を行う考えはあるか。

**答** 集落の共助活動を支援する地域除雪活動

支援事業は、年齢は問わない。傷害保険、賠償保険の全額、除雪機借り上げ謝礼金などを交付している。制度の周知を徹底し、利用拡大に努めたい。

**子どもの健康環境**

**問** 寿命百歳時代を迎え、子どもの健康管理が重要と考える。受動喫煙の影響検査や、骨密度の検査を行なっているか。また、遊び方の変化で、子ども達の歩く機会が少なくなり、筋力低下が心配されているが対策を考えているか。

**答** 市内の小中学校では、受動喫煙の影響がわかる検査や骨密度検査は行っていない。タバコの害や

受動喫煙の健康被害、丈夫な骨を作ること、体力・運動能力の向上については、年間を通じて各学校で計画的に取り組みを行っている。規則正しい生活による健康な体づくりを推進している。

**食品ロス**

**問** ※30・10運動の具体的な取り組みを行っているか。

**答** 具体的な事業は行っていないが、飲食店などからの生ゴミの約6割が食べ残した料理。効果的な施策を調査研究していきたい。

のために、各地区でごみの出し方の講座を開催するなどの対策が必要ではないか。

**答** 生ごみの減量を図る上で講座は有効な手段なので、衛生組織連合会と連携し検討していきたい。

本市の人口は減少しているが、ごみの量は減っていない。ごみ削減

※30・10運動  
※30・10運動  
※30・10運動  
※30・10運動

※30・10運動  
※30・10運動  
※30・10運動  
※30・10運動



ごみ収集



小関 英子 議員

白い雪・青い空  
緑の山々・四季の花  
おばね 大好き



議員のつぶやき…

# 花笠高原荘の改修計画について

## 市長…検討委員会の提言を尊重して対応したい



奥山 格 議員

### 特定公共賃貸住宅

**問** 住宅の現在の入居戸数、ここ数年間の入居戸数はどれくらいか。

**答** 管理戸数は6戸である。入居世帯数は、平成28年は3世帯、平成29年、30年は、1世帯である。

**問** 空いている戸数が多い原因はなにか。

**答** 家賃が比較的高く、部屋数が少なく子育て向きではないことなどである。

**問** 築17年が経過しているのに、もう少し家賃を低く設定すれば入居者が増えるのではないか。

**答** 法律により、建物の経過年数では家賃を低く設定できない。しかし空き部屋解消のための環境整備や新たな管理運営方法について検討したい。

### 花笠高原荘の改修計画

**問** 国道37号が年々通行増加させるためにも、観光施設が必要であり、景観が良く開放感のある大浴場も必要ではないか。また花笠高原荘に、近くの温泉のお湯を引いて来ることを検討してはどうか。

**答** 委員会では「大規模改修はせず、安価な公共の宿として運営を継続すること」の御所の湯を廃止することの2つの提言を出しており、市としてもこれに沿って進めたい。また、市内を始め温泉施設が新設されるなどしており、温泉を引くには相当な費用が伴うので、提言に沿って進めたい。

**問** 大浴場については、3年間黒字経営になっ

### 廃校の活用

**問** 今まで小学校があったところ、統合により活気がなくなった。少子化ゆえに統合はやむをえなかつたとしても、その活気をもう

**答** リニューアル効果は、確実にあると思うが、観光客が徳良湖温泉と分散するので、当面リニューアルは予定していない。

**問** 施設の改修には多額の費用がかかるが、耐用年数が伸びることを考えると必要なコストではないか。

**答** 2つの施設があれば、経費が倍かかるので、薬湯風呂も徳良湖温泉に移して1つにまとめたい。

リニューアルして交流人口の増加へつなげるべきでは！



議員のつぶやき…

# なぜ高い国保税、3年後の運営方針は？

## 市長…統一保険料にする方向ではない



鈴木 清 議員

### 県との共同運営化スタート

**問** 国保税一人当たりの保険税額が、確定係数より厚生労働省発表が高くなる理由は何か。実際の負担額がなぜ高額になるのか。滞納状況はどうか。

**答** 厚生労働省発表の12万8千702円は、一人当たりの国保事業費納付金となる。これは国保税のほか、国と県からの交付金などを合わせて納付するため高くなる。実際の負担額は一人当たり10万6千458円となる。近年の安定した所得状況に反し、被保険者数は年々減少傾向にあることから高額になる。

国保税(税)滞納世帯数等の割合(%)

	尾花沢市	山形県	全国
滞納世帯	332世帯 13.0%	10.0%	15.3%
*1 短期保険証交付世帯	66世帯 2.7%	3.6%	4.4%
*2 資格証明書交付世帯	56世帯 2.3%	0.4%	1.0%

\*1 短期保険証：3ヶ月間など有効期間の短い保険証  
\*2 資格証明書：窓口でいったん医療費の全額を払わなければならない。

**問** 大阪府では共同運営化の1年目から各市町村の国保統一保険料率が示され、低所得者層ほど保険料が上がっている。3年後に県の運営方針の見直し

### 種子法廃止

**問** 米・麦・大豆などの種子の安定供給を目的とし、国や都道府県に義務付けてきた主要農作物種子法(種子法)が3月で廃止された。なぜ廃止するのか。地域に適した品種の維持には行政の管理が不可欠であるという市民の声があるが、どのように認識しているか。

**答** 県の運営方針は、県内市町村の保険料率の算定方式が、3方式(所得割・均等割・平均割)に移行することを目指すものである。保険料率の算定については地域の実情に応じて市町村が定めるとしており、統一の方向性は示されていない。県との連携を密にし、国保加入世帯の状況などを注視し、国保会計の安定運営に努めたい。

**問** 昭和27年成立の種子法は戦後の種子の安定供給を支えてきたが、国内外の情勢の変化により、種子開発への参入を目指す民間企業との競争が対等ではないという観点から、廃止へ向かった経緯がある。県は開発と安定生産、供給を考えている。動向を注視し対応したい。

**答** 一度別の形で取り戻せば地域はまた活性化する。そこを何かに活用できないか皆で真剣に考えてはどうか。そしてその活動を市で支援してはどうか。

**問** 「学校跡地地活用検討委員会」を立ち上げる必要はないと考えるものの、活用を検討されるケースがあれば、情報提供や現地視察などについて支援していききたい。

**答** 解体にも多額の経費がかかることを考えると、もう一度何かに活用できないかを検討してからも遅くないのではないかと。旧福原中部小学校については、安全確保のため、地元からも解体を進めたいという声がある。

市長おつかれさまでした。これからも元気でご指導お願いします



議員のつぶやき…